



1月園だより

令和5年 1月4日
目黒区立大岡山保育園 園長

新年明けましておめでとうございます。

健康成就、生きる力を授けてくださる年神様をお迎えするため、年末に5歳児クラスの子どもたちが「しめ縄」を作りました。園で育てた稲の藁に合わせて職員の故郷から藁の提供もあり、重厚感のあるどっしりとしたしめ縄が出来ました。しめ縄は3人1組になって協力して作ります。一人が水に湿らせた20本くらいの藁束を全部持ち、反対側を2つに分け、他の二人が端を持ちながらねじっていきます。別々にねじった2つの藁をさらに重ねてねじり合わせていきます。子どもたちにとっては初めての経験なので用務員や副園長も参加し、子どもたちにねじり合わせるコツを伝えていきます。一つのしめ縄を作るために職員や友達とたるまないように引っ張り合い、強くねじるように互いに励ましあったり教えあったりしながら取り組んでいました。作業中、藁を持つ手は冷たくなっていますが、どの子どもも弱音を吐かず真剣に取り組む姿に、難しいことにも最後まで取り組む気高い心やたくましさを感じました。『稲を育て米を食し、その藁も利用する』という無駄を出さない暮らし方が日本古来からあります。スピーディーで便利な世の中のみならず気持ちに奪われないように、昔から大切にされてきた暮らしの在り方を、幼児期の子どもたちにも経験し感じてもらう活動となったと思います。

旧年中の様々なご支援、ご協力を感謝すると共に、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月の予定

- 新年を祝う会
- 乳児お楽しみ会
- 5歳児クラス懇談会
- 中旬 身体計測・避難訓練

2月の予定

節分

- 0歳児クラス懇談会
- 4歳児クラス懇談会
- 3歳児クラス懇談会
- 2歳児クラス懇談会
- 1歳児クラス懇談会

中旬 身体計測・避難訓練



保健室より「手洗い上手にできるかな」

食事の前に保育室をまわると「見て、ピカピカ」と子どもたちが、洗いたての手を見せてくれます。風邪予防には大切な手洗いですが、寒くなり水が冷たくなると手洗いを嫌がる姿もみられます。11月から「手洗い」の健康教育を行いました。0、1歳児クラスは担任の先生と手洗いの練習を始め、2歳児クラスからは紙芝居などを使ったり、きらきら星の歌に合わせた手洗いの方法を練習する健康教育を実施しています。毎年同じような話をしているので、5歳児クラスの子どもたちは「その紙芝居、見たことある」「もう手洗いできるよ」と慣れた様子で話を聞いてくれます。「何で手を洗うの?」「いつ洗うといい?」という質問にも「病気にかからないため」「食事の前」などたくさん答えがあがり、小さい頃からの積み重ねを感じます。小さいうちから大人と一緒に手洗いを行うことで習慣が身についていきます。さらに健康教育では何故必要なのか、どうすれば良いのかを話すことで、子どもたちが自分の体に興味をもち、手洗いの大切さを知っていきます。手洗いをして寒さに負けず元気に過ごしてくれると嬉しいです。



子どもたちが夢中になっている遊び

1歳児（もも組）

お休みの日にお出かけした子が「サファリパーク行ったんだ」「ガオーってライオンいたの」「車で行くんだよ」と保育士に楽しそうに話してくれました。「この動物はいた？」と保育士が動物人形を出すと「カバもいたね」「キリン」とつぶやきながら夢中になって並べて遊んでいました。また別の日に同じように動物人形を並べ始めました。積み木を囲いのように仕切った中には動物をそっと置いて、大きな動物園のようになっていきます。橋のように渡した積み木の上には動物を並べ「駅なの。動物が乗るんだよ」と、駅で待っている動物を電車の上に乗せると走って行きました。その遊びを近くで見ていた友達は「カメ、カメ」と大好きな亀の動物人形をカゴから探し出すと同じように自分の車に乗せて走らせていました。

経験したことを見立てて遊んだり、じっくりと自分のイメージで遊ぶことが増えてきました。友達の遊びを見て周りの子ども興味も広がり同じように遊んでいます。保育士も子どもの思いにたくさん共感し、一人ひとりが満足するまで遊べる空間や環境を大切にしていきたいと思います。



2歳児（りんご組）

戸外に出ると「むっくりくまさん、やろう」と保育士や友達と一緒に追いかけてっこをして遊ぶことを楽しみにしています。初めは保育士がくまさん役になり、子どもたちを追いかけていたのですが、最近では子どもたちが「くまさんやりたい」と集まり、座りながら寝る真似をして待っています。「むっくりくまさん…」と歌い始めるとくまさん役は目を閉じ、歌に合わせて体を揺らしたり口ずさんだりしています。「目を覚ましたら食べられちゃうよ」と歌が進むにつれ、周りを手つなぎして回っている子はくまがもうすぐ起きることが分かっているので、足をバタバタさせたり友達と顔を見合わせたりしてドキドキしている様子が伝わってきます。くまが起きて大盛り上がりで逃げた後は「もう一回やりたい」と声が上がり「一緒に手つなごう」と友達と手をつないでいたり、すでに寝て準備している子もいます。友達の楽しそうな声を聞いて別の場所で遊んでいた子ども輪に入り、最後にはクラス全員で一緒にひとときを過ごしていました。

友達と一緒に体を動かして遊ぶことの楽しさを保育士も共有しながら、繰り返し遊んでいきたいと思います。



4歳児（れもん組）

保育室でトランプやかるた、UNOなどのカードゲームに夢中になって遊んでいます。保育士と一緒に遊びながら少しずつルールを覚えていき、今では「順番、来たよ」「次はUNOやろうよ」と子ども同士で遊ぶことも出来るようになってきました。カードを引くと「やった。いいの（手札）がきた」「見ないでね」と喜びを隠しきれない姿もあります。保育士も一緒に遊んでいますが、回数を重ねるごとに子どもたちもだんだん強くなってきて負かされることもあります。保育士が本気で悔しがる「やったー」と大喜びしている子どもたちです。勝ち負けが必ず決まるので、負けた時には悔しがったり落ち込んだりすることもあります。ルールのある遊びが楽しいと思えるようになったことで「みんなとまたやりたい」と自分の気持ちを切り替えて遊べるようになってきています。遊ぶ中で「OOくん、強いね」「次は勝つかもよ」とお互いを認め合ったり励まし合う姿もあり、そういう姿を大切にしながら友達同士の関わりが深まっていけるようにしていきたいと思います。

